

2022年1月17日
東京海上日動火災保険株式会社

第7回サステナブルファイナンス大賞「優秀賞」を受賞

東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長 広瀬伸一、以下「当社」)は、ESG 評価を組み込んだ会社役員賠償責任保険(D&O 保険)の開発につき、一般社団法人環境金融研究機構(RIEF)が主催する第7回(2021年)サステナブルファイナンス大賞「優秀賞」を受賞いたしましたので、お知らせいたします。

1. 「サステナブルファイナンス大賞」について

「サステナブルファイナンス大賞」は、環境問題を金融的に解決する「環境金融」の普及・啓発活動を行っている一般社団法人環境金融研究機構(RIEF)が、日本での環境金融・サステナブルファイナンスの発展に貢献した金融機関・企業・機関・団体等を表彰する制度です。2015年から始まった本表彰制度は今回で7回目となります。

※詳細は「一般社団法人環境金融研究機構(RIEF)」公式サイトをご覧ください。

<https://rief-jp.org/category/award>

2. 受賞概要

当社は、ESG 評価と D&O 保険に関するリスクの相関を検証することで^(※)、企業の ESG 評価と財務情報等をもとに AI を活用してリスクを評価するモデルを構築しました。企業の ESG に対する取組み状況が D&O 保険の保険料に反映される仕組みを通じて、企業の ESG 取組みを後押しします。

本モデルの開発は、国内で初めて損害保険に ESG 評価を組み込んだ新規性等が評価され、サステナブルファイナンス大賞「優秀賞」を受賞いたしました。

今後も、「お客様や地域社会の“いざ”を支えお守りする」というパーパスを起点として、持続可能な地球と社会の実現に向けた課題解決に一層取り組んでまいります。

※2021年11月8日 ニュースリリース: ESG スコアの保険引受業務への活用に向けた実証実験

https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/company/release/pdf/211108_01.pdf



以上